

ハンドルのにぎり

自転車に乗る時に、いつもなにげなく握っているハンドルのにぎりですが、サドル、ペダルとともに人の体に触れる大切な部品のひとつです。特に、ハンドルのにぎりは素手で持つことが多く、直接自転車と接触するところです。



にぎり



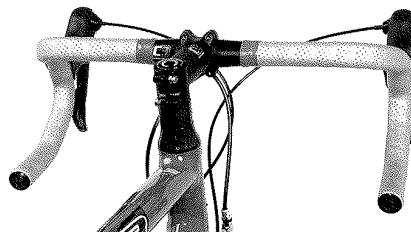
にぎりの役目

ハンドルを握って走行するとき、にぎりの握りやすさ、感触のよさが乗る人に安心感を与えます。ハンドルの金属部分をゴムや樹脂などで覆っているため、衝突、転倒した時にハンドルバーの端に体が当たっても怪我をしないようにする役目や、冬の寒い時でも、金属であるハンドルの冷たさから、掌を守る役目もあります。

また、自転車の走行中、速度を上げて速く走る時や坂道を登る時など、自然に手に力が入ってにぎりを強く握りしめることがあります。

様々な種類

一般の自転車はゴムや樹脂などで作られたにぎりがハンドルについていますが、スポーツに使うロードバイクのドロップハンドルには、直接、布やコルク製のバーテープというテープ状のものをハンドルに巻いていきます。



にぎりの点検

自転車の走行中、にぎりを強くにぎったとたんに、にぎりがスポッと抜けることを想像すると、ゾッとすると思います。もちろん、にぎりはJISなどの規格できちんと決められていて、めったなことでは抜けることはありませんが、にぎりはいつも使うところなので、自転車に乗る前の点検はかかせません。

特に、梅雨時には雨水の影響により抜けやすくなりますのでこの機会ににぎりを点検してみましょう！

- にぎりにひび割れ、切れ目はありますか？
- にぎりは固定されていますか？
- 力を入れても、にぎりが回ったり抜けたりしませんか？

異常があったら、すぐに自転車販売店に相談しよう！

<自転車流通研究会 事務局>

一般財団法人自転車産業振興協会 事業部

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-3 電話 03-5572-6409

E mail: 9ki@jbpi.or.jp

<http://www.jbpi.or.jp/9ki>